

【島のくらしの情報】

粟島

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粟島では漁業をされる第一次産業従事者と観光に携わるサービス業従事者が多くいます。</li> <li>・ 村では後継者になってくれるような人材を求めています。</li> </ul>
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粟島には公営住宅（23戸）があります。現在、空き室・空き家はありますが、今後増やしていく予定があります。</li> <li>・ 住宅に関するお問い合わせ先は、粟島浦村役場総務課0254-55-2111です。</li> </ul>
<p>③医療環境の状況</p>	<p>○常勤医師は不在ですが、粟島へき地診療所に、看護師二名が常勤しています。また、本土の厚生連村上総合病院とのテレビ診療を行っていて、オンラインによる診察が行われています。ほかに、7月～8月の日曜日には、村上総合病院から医師が派遣されて、日曜診療が行われています。</p> <p>○歯科診療は毎週金曜日に粟島へき地診療所へ歯科医が来島し、治療を行っています。</p> <p>○急患の対応としては、日中はドクターヘリで搬送し、夜間は定期船を時間外に運航し、本土の病院へ運びます。</p>
<p>④福祉環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人福祉施設は1ヶ所あり、デイサービスを提供しています。</li> <li>・ 安心して子どもを産み育てる環境づくりの一環として、中学生以下の子ども（付き添い者対象）、妊産婦、75歳以上前年度合計収入額100万円以下の方は船賃の半額を助成しています。</li> <li>・ 予防事業としては、高齢者を対象にした「イキイキ体操教室」を月2回行っています。</li> <li>・ 妊産婦は、本土の病院での検診・出産が必要となります。／村では妊産婦の方の負担軽減のために、海上運賃・検診料などの補助を行っています。</li> <li>・ 母子保健衛生事業として、各種ワクチン費等の助成を行います。</li> </ul>
<p>⑤教育環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内浦地区に粟島浦小学校（児童12名、先生6名）、粟島浦中学校（生徒13名、先生7名）があります。</li> <li>・ 内浦地区に粟島浦村保育園（園児8名、先生3名）があります。</li> <li>・ 粟島には高校はなく、島内から通学もできません。／村上市内に粟島浦村で運営する寮があり、島出身の高校生の多くはこの寮から通学しています。寮には、管理人がいて食事も提供します。</li> <li>・ H25年度から「粟島しおかぜ留学」が始まり、離島留学生の受入れを行っています。（平成28年度は小学生4名、中学生6名）</li> </ul>
<p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粟島の上下水道は100%整備されています。</li> <li>・ ガスはプロパンガスです。／島内の業者が利用状況を見て回収・交換を行っています。</li> <li>・ 電気は島内にある火力発電所で発電されます。</li> </ul>

<p>⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）</p>	<p><b>【航路】</b> フェリー又は高速双胴船          新潟県村上市岩船港（最寄り駅はJR村上駅。同駅からタクシーで約12分：約2,000円（乗合タクシー（要予約）約15分：700円あり。））から内浦港へ。          ・フェリーを利用：フェリー「あわしま」で90分（1日1～2便）・大人1,880円、こども940円（二等）。          ・高速双胴船を利用：高速双胴船「awalineきらら」で55分（1日1～3便）・大人3,790円、こども1,900円。          全住民一律片道高速船2,770円、普通船1,250円。（片道高速船1,020円、フェリー630円の助成）</p> <p><b>【島外交通】</b> 乗合タクシー          ・乗合タクシーがJR村上駅～岩船港で運行されていて、途中に3ヶ所の停留所があり、病院や買い物にも利用できるようになっている。700円。</p>
<p>⑧島内の交通手段（費用、便数など）</p>	<p><b>【島内交通】</b> コミュニティバス又は観光船          ・コミュニティバス〈県道ルート（通年）〉内浦地区：粟島汽船乗り場から釜谷地区：釜谷港入口まで15分（1日5便～6便）。釜谷港入口からも同数便あり。大人（中学生以上）200円、小学生100円、未就学児無料。          ・コミュニティバス〈観光ルート（4月～10月）〉内浦地区：粟島汽船乗り場から釜谷地区：釜谷港入口まで45分、釜谷地区：釜谷港入口から内浦地区：粟島汽船乗り場まで45分〈それぞれ1日1便～2便〉。大人（中学生以上）500円、こども250円、未就学児無料。          ・観光船（4月下旬～9月下旬まで）内浦港から釜谷港まで25分。休憩10分後、釜谷港から内浦港まで35分（1日3便～4便）。半周：大人（中学生以上）600円、小学生300円。</p>
<p>⑨買い物場所・物価の状況</p>	<p><b>【買い物場所】</b>          ・スーパー1軒／商店2軒／レストラン・食堂6軒／売店・おみやげ店4軒</p> <p><b>【物価例】</b> 2016年9月の価格          米（コシヒカリ10kg）5,078円、卵（10個1パック）210円、ティッシュペーパー（5箱入り1パック）322円、ガソリン（1ℓ）119円</p> <p>※このほか、野菜は畑で作っている方が多くいます。／ご近所を問わず、野菜や魚などのお裾分けは頻繁にあります。</p>

⑩これまでの移住実績	・直近三年間で、Uターン者は12世帯20人となっています。島出身者は2人がUターンしています。
⑪移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況	【問い合わせ先】 粟島浦村役場総務課 0254-55-2111
⑫移住にあたっての支援の状況	【問い合わせ先】 粟島浦村役場総務課 0254-55-2111
⑬そのほか島での暮らしぶりについて伝えておくべき必要な情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粟島には消防署がないため、消防団が日頃から防火・防災活動をしています。もし、災害があれば消防団の役割は重要になります。</li> <li>・ゴミ収集は、燃やすゴミが週2～3回、資源ゴミが週1～2回、燃やさないゴミは月1回集めていて、生ゴミは週2～3回集めて堆肥化しています。</li> <li>・内浦地区には、村営の「漁火温泉おと姫の湯」があり、観光客だけではなく村民の憩いの場として活用されています。</li> <li>・お年寄りには粟島の方言を使いますが、慣れるまでに少し時間がかかります。</li> </ul>